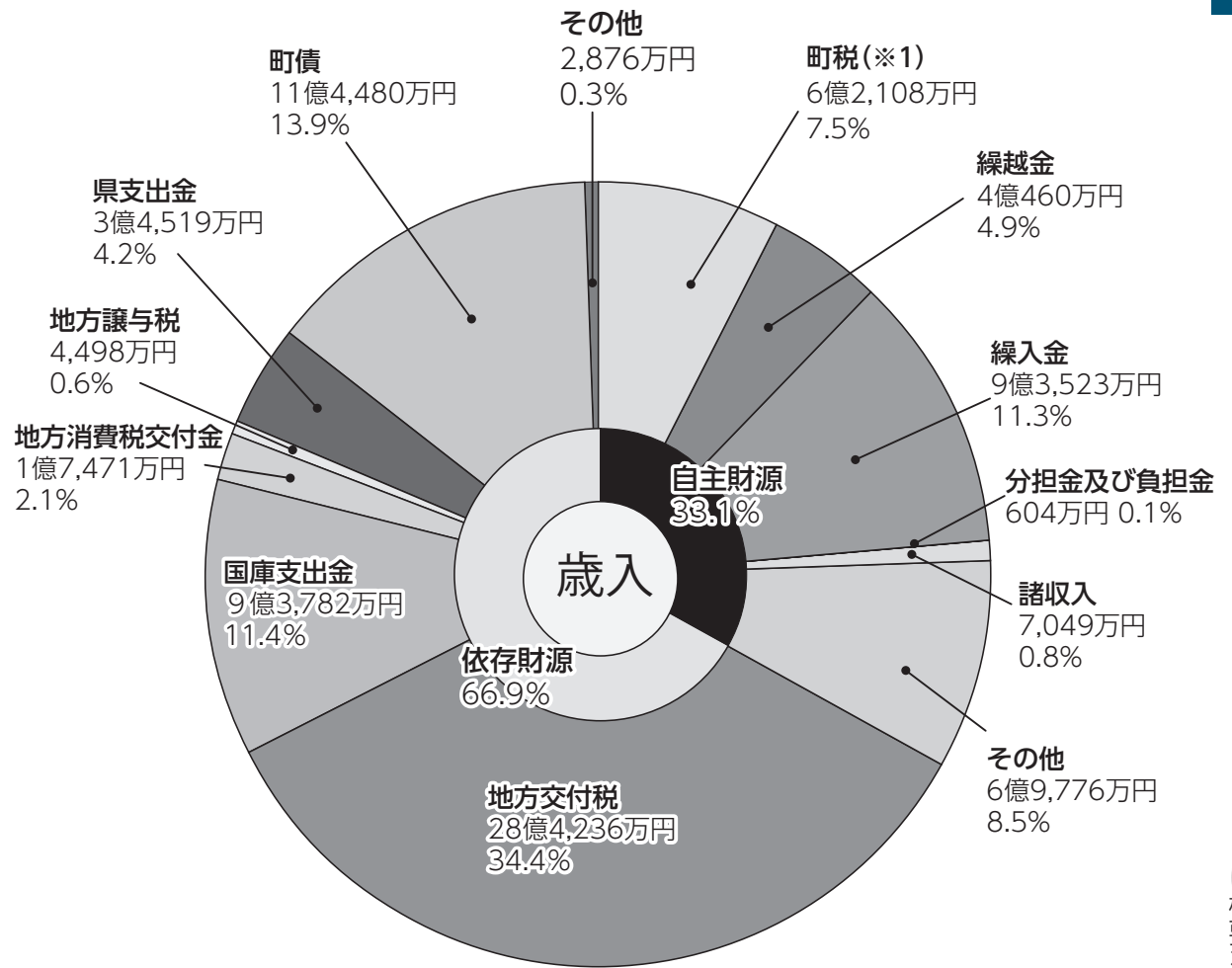


決算報告

町議会9月定例会で令和7年度の大石田町決算が承認されました。町の予算は、町民の皆さんが納めた税金をはじめ、国や県からの補助金や地方交付税などで構成されています。
財源の内訳や町に入ってきたお金がどのように使われたのか、一般会計を中心に概要をお知らせします。

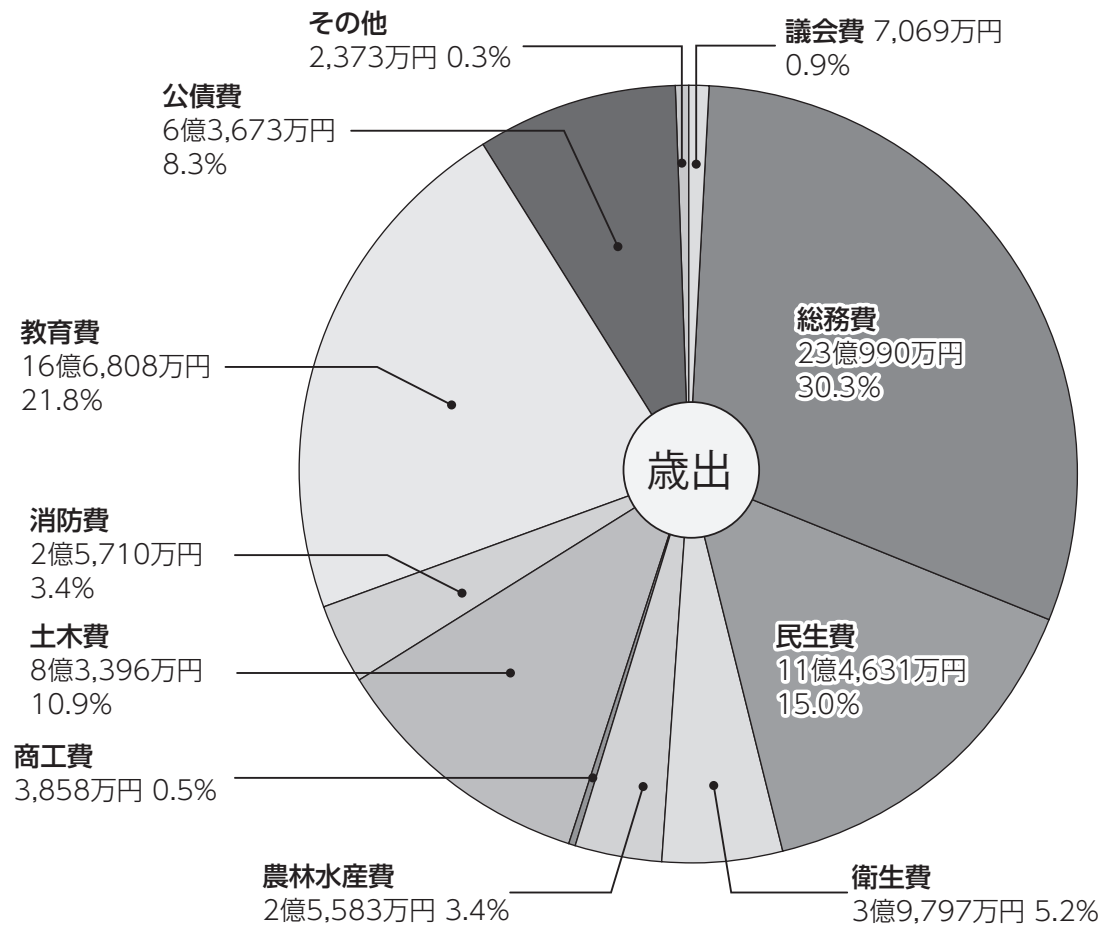


一般会計歳入総額
82億5,382万円

(※1) 町民税 2億6,535万円、固定資産税 2億9,443万円、
軽自動車税 3,055万円、市町村たばこ税 159万円、
鉱産税 28万円、入湯税 1,190万円、都市計画税 1,698万円

令和7年度歳入歳出決算額及び対前年度比較表 (単位：千円、%)

区 分		歳入決算額	歳出決算額	歳 入		歳 出	
				前年度比較	増減率	前年度比較	増減率
一 般 会 計		8,253,818	7,638,882	1,494,348	22.1	1,284,011	20.2
特別会計	国民健康保険	847,713	757,513	30,121	3.7	36,026	5.0
	介護保険	924,284	844,402	△24,602	△2.6	△27,444	△3.1
	後期高齢者医療	134,597	130,161	11,980	9.8	9,377	7.8
一般会計＋特別会計		10,160,412	9,370,958	1,511,847	17.5	1,301,970	16.1



一般会計歳出総額
76億3,888万円

財政指標等でみる町の財政状況

財政力指数

令和7年度 0.215
令和6年度 0.216

財政力指数

標準的な行政サービスを提供する経費のうち、町が自前で調達できる財源(町税や使用料等)がどのくらいかを表した数値。1に近いほど自前で資金を調達でき、財源に余裕があるということを示しています。

大石田町では財源の約22%を自前で調達し、残りを国や県などに依存していることを表しています。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は黒字のため比率がありません。また、簡易水道事業会計、農業集落排水事業会計の資金不足額はありません。

実質公債費比率

令和7年度 10.5%
令和6年度 10.7%

実質公債費比率

町の財政規模に対して、公債費(借金返済額)に相当するものなどがどれくらいの割合なのかを示す比率です。25.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

将来負担比率

令和7年度 4.8%
令和6年度 2.4%

将来負担比率

町の財政規模に対して町が将来支払っていく負担等を表す比率です。350.0%を超えると国または県の管理下で財政運営をすることになります。

大石田町の一般会計の決算は、歳入総額が82億5千382万円、歳出総額は76億3千888万円となり、前年度に比べ歳入は14億9千434万8千円、22.1%の増、歳出は12億8千401万1千円、20.2%の増となりました。

歳入が増となった主な要因は、給与改定等による人件費の増、統合小学校整備事業や旧横山保育園解体工事などによる普通建設事業費の増などによるものです。

歳入が増となった要因は、ふるさと納税制度による寄附金が減となった一方で、特別交付税を含めた地方交付税の増、統合小学校整備事業などに伴う公立学校施設整備費負担金などの国庫支出金の増などによるものです。

大型事業の着手による普通建設事業費の増により、歳入歳出ともに増加